

令和6年度 岐阜地区学校図書館教育優秀賞 審査の観点

岐阜地区教育長会
岐阜教育事務所

【管理運営】

学校の特色を生かし、利用しやすく魅力ある施設・設備の充実にむけ、全職員の共通理解に基づく組織的な管理運営を推進する。

- ① 図書館運営に関して、職員の共通理解が図られているか。
- ② 児童生徒にとって魅力ある図書館にするために見通しをもって取り組むことへの配慮があるか。
- ③ 学年・学級文庫、目的別図書館等の設置や館内設備の配置・配本の工夫等、機能的な施設・設備の充実に努めているか。
- ④ 図書館主任、司書教諭、学級担任、児童生徒等への役割分担・協力があり、学校運営組織に適切に位置付けられているか。

【資料整備】

学習に役立つ、図書及び学習資料（非図書資料）を意図的・計画的に整備する。（情報センターとしての機能の充実）

- ① 学習資料の計画的な蓄積と活用があるか。
- ② 児童生徒の手による書目づくり、教科学習等の活用を図るための学習単元目録等の作成を進めているか。
- ③ 公立図書館等との連携を図ろうとしているか。

【読書指導】

児童生徒が読書の喜びを味わい、読書生活を充実させる指導を推進する。（読書センターとしての機能の充実）

- ① 国語科学習として読書活動を指導計画に位置付け、実践しているか。
- ② 児童生徒が自らの読書生活に関心をもち、読書生活を広げようとしているか。
- ③ 親子読書等を通して、保護者や地域の方、公立図書館等との連携を図ろうとしているか。

【利用指導】

学校図書館の利用を促進し、自ら学ぶ力を育む指導を推進する。（学習センターとしての機能の充実）

- ① 児童生徒の学年段階に応じた利用指導の計画が作成されているか。
- ② 各教科・領域、総合的な学習の時間等の指導計画に図書館の活用が位置付けられているか。
- ③ 利用指導の計画にしたがって実践がなされ、実践の記録がファイルや電子媒体等に残されているか。



令和6年度 岐阜地区学校図書館教育優秀賞 審査結果一覧

岐阜地区教育長会
岐阜教育事務所

◆最優秀賞◆

○各務原市立那加第一小学校

「誰もが訪れたくなる場所」を根底に図書館経営を行っている。今年度は、児童数の増加に伴い、教室を確保するために、図書館を合併して管理運営を行うことになった。今年度は貸出日が指定されているにもかかわらず、昨年度よりも一人当たりの貸出冊数が増えている。900人近い児童が平等に図書館を利用できるよう、利用日を指定したり、低学年の優先コーナーを整備したり、配本の工夫を行ったりしている。委員会が中心となってしおりコンクールを行ったり、図書館の使い方を動画で説明したりしたことで、全校児童がマナーを守ることや、読書生活に関心をもつことにつながっている。これらの継続的な工夫を今後も参考にすることができるよう、アルバムに溜めていくことで、持続可能な図書館の運営がされている。



○岐阜市立厚見小学校

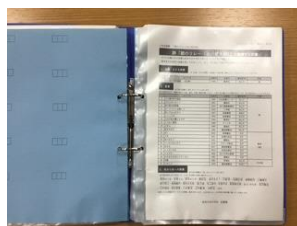
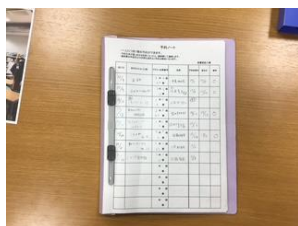
「図書館に親しみ、本を好きになる子の育成」を目標として、学校図書館が読書センターとして充実するように、継続的な取組がなされている。地域と協力して朝の読み聞かせを行ったり、図書館の掲示物の作成をしたりしている。学校図書館を教科等の学習にどのように活用することができそうかを話し合い、国語科、社会科、総合的な学習の時間と関連付けて、学習センターとしての機能が充実するよう計画的に取り組んでいる。委員会の活動では、児童が持ち寄った47都道府県のパamフレットやリーフレットを自由に閲覧できるスペースを位置付け、幅広く読書に親しむことができるようにしている。これらの取組は、昨年度より大幅に一人あたりの貸出冊数が増えたことから有効的だと評価できる。



◆優秀賞◆

○岐阜市立岐阜中央中学校

学校司書が子供の声に耳を傾けて、テーマ展示や面出し展示の内容を考え、定期的に更新することで学校図書館に新鮮さをもたらしている。昨年度から行っている本の予約制度は軌道に乗り、利用者の大幅な増加につながった。タブレット端末から利用できるパスファインダーには、本に関わった情報のリンクも載せられており、必要な情報にスムーズにアクセスできるようにしている。また、各学年のフロアを2週間ごとに移動する新聞ラックに学校司書が一言解説を添えることで、新聞を身近に感じられるようにしている。これらの取組により、昨年度以上に読書に親しむ生徒が育ってきている。



○岐阜市立岐阜清流中学校

平和学習やキャリア学習を中心に図書館を活用した調べ学習を行っている。多様な情報を得て、考えをまとめ、仲間に報告する学習を位置付けることで、情報センターとしての機能を充実させている。お昼の放送では、協働支援ツールを活用して20冊以上の本の紹介を行ったり、委員会が主催したビブリオバトルのチャンプ本の紹介を行ったりしている。これらは、生徒と共に読書センターとしての機能を充実させた活動である。図書館祭りでは、本の宝くじを作成したり、図書館オリジナルキャラクターを考案したりして生徒が図書館を身近に感じ、本への興味・関心を高められるようにしている。



○岐阜市立則武小学校

地域の企業や金融機関、岐阜市立図書館と連携して、子供の読書活動が充実するよう新しい本を購入したり、ブックトークを行ったりしている。今年度は、縦割り班の活動として、高学年が他学年に本の読み聞かせを行う活動を実施したり、図書委員が1年生の教室に出向き、休み時間に紙芝居を行ったりした。これらの活動は、児童同士が本について互いの考えを自然に伝え合う姿につながっている。また、図書委員によるポップやスタンプカードの作成、継続して行っている家族読書の取組を通して、本をきっかけとした人と人とのつながる、ホッとできる図書館の経営を充実させている。



◆奨励賞◆

○岐阜市立早田小学校

書店と協力して体育館に3000冊の本を準備し、児童自身が自分の気に入った本を選び、図書館の本として購入してもらうよう依頼する「早田書店」という新しい試みがある。自らの選書した本が図書館に置かれる際は、その児童が責任をもって本の帯を作成することで、要約する力や想像する力を高めたりしている。また、有志が執筆した「大ピンチ図鑑」には、生活の中でピンチだと思った何気ない瞬間と、その対処法が綴られており、情報を発信する責任を感じられるとともに、図書館への興味・関心を高める取組であると言える。



○岐阜市立陽南中学校

総合的な学習の時間、理科、国語科、外国語科の学習でどのように図書館を活用するか、年間利用計画を作成して学習センターとしての機能を充実させている。図書館廊下には3社の新聞を掲示し、足を止めた生徒が比較して読むことで社会への関心を高めるための工夫があり、情報センターとしての機能を充実させている。委員会の取組として、本の福袋、陽南中学校をテーマにしたしおりを作成して配付することで図書館祭りを盛り上げている。これらの取組が、図書館に自ら関わり、豊かに生きる生徒の育成につながっている。



○羽島市立堀津小学校

児童会が主体となって学校図書館を盛り上げる活動がある。年に3回開催される図書館祭りでは、図書館ビンゴを行ったり、手作りのカプセルトイを獲得できるようにしたりする工夫がある。本に紹介されている簡単な実験や折り紙工作等の催しには、多くの児童が参加した。児童一人一人の読書冊数を相撲の番付表のように掲示したり、職員のおすすめ本を図書館の入り口に置いたりして、子供の足が図書館に向くように工夫している。これらの活動は、児童が読書への関心を高め、読書の幅を広げることに効果的につながっている。



○山県市立桜尾小学校

全校55人のおすすめの本を書架に面展示したり、書架全体を視野に入れて読書を楽しむことのできるベンチやフラットスペースを設置したりすることで、本を通じて自然な交流が生まれるようにしている。朝や休み時間、放課後等には図書館を開放し、異学年で学習したり地元の中学生に学習のアドバイスをもらったりする時間を確保している。NIEコーナーには、新聞の一面を広げて展示し、児童が社会の新しい出来事に興味を持てるようにしている。これらの小規模校の特色を生かした取組は、進んで読書に親しむ子の育成につながっている

